

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 花ぞ野

目標達成計画

作成日: 令和 3年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍以前は会議を開催し意見交換が行われていたが、今年度は、書面会議としており、状況報告が主となっている。	運営推進会議による意見等を活用して、サービスの向上に努める。	メンバーに意見書を同封して、意見を願う。家族にも会議録を送付し、内容の周知を図る。	3ヶ月
2	6	点滴治療の際に、ごく稀ではあるが自己抜去防止のため、一時的に穿刺部位を保護固定することがある。	点滴等の医療行為中において穿刺部位の保護や固定が拘束に当たる可能性があることを職員が認識するとともに家族にも周知を図る。	入居契約時、一時的に穿刺部位を保護・固定するなど、医療行為の際に必要な場合がある旨の説明と同意を得る。緊急時は事後報告になる場合もあることも併せて了承する。	3ヶ月
3	35	消防計画は併設の特別養護老人ホームと一体で作成しているが、職員への計画の周知・把握が不十分。	職員が消防計画を把握して、防災への意識を高め、災害対策に努める。	消防計画、災害計画をいつでも閲覧できるようにして、周知・把握に努める。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。